科目名	エステティック実習				
担当教員	原　直美		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	282
授業概要、目的、授業の進め方	ボディ技術の習得 お客様への接客・気配りを養う				
学習目標（到達目標）	修了試験合格を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト・講師オリジナルテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
4月	ワゴン・ベッドのセッティングの仕方、モデルの誘導の仕方	オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習
5月上旬	下肢後面デモ、下肢後面技術	オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習
5月中旬	背部デモ、背部・下肢後面技術練習	オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習
5月下旬	背面技術練習	オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習
6月上旬	背面技術チェック	下肢・背部の相モデルでの技術チェック
6月中旬	下肢前面デモ、下肢前面技術	オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習
6月中旬	上肢デモ、上肢・下肢前面技術練習	オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習
6月下旬	腹部・胸部・頸部・頭部デモ、腹部・胸部・頸部・頭部・上肢技術練習	オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習
7月上旬	前面技術チェック	下肢前面・上肢・腹部・頸部・胸部・頭部の相モデルでの技術チェック
9月上旬	背面・前面技術チェック	夏季休暇後の実習授業で技術チェックを行う
9月～10月	各部位の技術練習	不得意な技術を強化練習する
11月	トータル技術練習	実技試験の流れで練習する
12月中旬	修了実技試験	相モデルでの実技試験
1月上旬	ポイントクレンジングのデモ、ウィックでポイントメイクの練習	オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習
1月中旬	クレンジングのデモ、ウィックでクレンジングの練習	オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習
1月下旬	丸スポンジ・ホットタオルの拭き取り方デモ、ウィックでの拭き取りの練習	オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習
2月	ポイントクレンジング・全体クレンジング・拭き取りの実技練習	オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　40%、学習意欲　30%　レポート　% 出席率　30% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	技術習得はもちろんだが、相手への気配りや心配りも大切な事を意識させる。

実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。

科目名	エステティック実習				
担当教員	田伏　澄子・原　直美		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	395
授業概要、目的、授業の進め方	フェイシャル技術の習得と日本スパ・ウエルネス協会ビューティセラピストの実技試験に向け試験対策を行っていく。				
学習目標（到達目標）	日本スパ・ウエルネス協会ビューティセラピストの実技試験の合格 卒業後サロンで働く際に必要な技術、心配りの習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本スパ・ウエルネス協会テキスト 講師作成テクニックテキスト、使用化粧品成分表				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
４月	ポイントクレンジング、全体クレンジング、拭き取り	講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導
５月	ポイントクレンジング、全体クレンジング、拭き取り、マッサージ	講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導
６月	マッサージ、ローションマスクシート	講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導
７月	マッサージ、肌分析（ウッドランプ、拡大鏡）	講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導
９月	ディープクレンジング	講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導
１０月	ディープクレンジング、電気機器、パック	講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導
１１月	試験対策	ポイントクレンジング～仕上げまで行い修正してく。施術中の口頭試問もおこなっていく
１２月	試験対策	ポイントクレンジング～仕上げまで行い修正してく。施術中の口頭試問もおこなっていく

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　３０%、学習意欲３０%　レポート　% 出席率４０% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	フェイシャル技術の基本を身につけることで、サロンに行った際にスムーズにお客様対応が出来るようになるので、１つ１つの意味合いを理解した上で身につけるようにしてください。

実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5~12年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。

科目名	アロマテラピー				
担当教員	田中　ようこ・田伏　澄子	実務授業の有無	○		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年間	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	58
授業概要、目的、授業の進め方	1年次ではアロマテラピーに関しての学習 2年次では検定に向けての検定対策授業を行う				
学習目標（到達目標）	アロマテラピー検定1級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ｱﾛﾏ環境協会　公式テキスト１級				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	アロマテラピーについて	公式テキスト１級P9～18　ルームフレッシュナー
2	精油の基礎知識	公式テキスト１級P27～37
3	アロマテラピー利用法	公式テキスト１級P83～110
4	アロマテラピーのメカニズム	公式テキスト１級P19～26
5	ハンドメイドソープ	石鹸をつくる実習
6	アロマテラピーと歴史	公式テキスト１級P135～150
7	アロマテラピーと健康	公式テキスト１級P111～132・発泡バスソルト
8	アロマテラピーと地球環境	公式テキスト１級P151～165
9	アロマテラピーについて関する法律	公式テキスト１級P167～174
10	日本アロマ環境協会について	公式テキスト１級検定について・ハンドトリートメント実践
11	検定対策	まとめシートの作成
12	検定対策	まとめシートの作成
13	検定対策、アロマトリートメント（手浴）	まとめシートの作成
14	検定対策、アロマトリートメント（足浴）	まとめシートの作成
15	検定対策、アロマトリートメント（ボディマッサージ）	模擬テスト
16	検定対策	模擬テスト
17	検定対策	模擬テスト
18	検定対策	模擬テスト

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験３０％、実技試験　　％、学習意欲３０　％　レポート　％ 出席率４０％ 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	各精油の効果・効能・注意点をよく理解し効果的に使用していく。

実務経験教員の経歴	アロマテラピーショップとスクールを経営、現場の知識と技術の指導が可能。

科目名	ワックス脱毛				
担当教員	小田　陽子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	19
授業概要、目的、授業の進め方	技術の習得、安全と衛生に注意し準備・施術を行う				
学習目標（到達目標）	ワックス脱毛の技術を知る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	講師オリジナルテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ワックス脱毛授業に関しての説明	P1～6
2	施術の流れの説明	P1～6
3	相モデルで実習	P1～6
4	相モデルで実習	P1～6
5	相モデルで実習	P1～6
6	技術チェック	P1～6
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　%　レポート　% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	実習授業になるので、禁忌事項や使用上の注意事項を理解させて行う。

実務経験教員の経歴	

科目名	タイ古式マッサージ				
担当教員	寺尾　奈穂子		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	幅広いエステティックのテクニックを知る。				
学習目標（到達目標）	手技の効果、ツボの位置、体重の掛け方を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員のオリジナルテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	タイ古式マッサージとは、タイ古式マッサージの歴史	講師のオリジナルテキストを使用するP1～12
2	実技　下肢前面	講師のオリジナルテキストを使用するNO.1～29
3	実技　後面	講師のオリジナルテキストを使用するNO.30～58
4	実技　背部	講師のオリジナルテキストを使用するNO.59～86
5	実技　全身	講師のオリジナルテキストを使用するNO.1～86
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	普段行っているベッドの上ではないので、ツボの位置や体重の掛け方が違うので注意をして行う。

実務経験教員の経歴	タイ古式サロンを経営、現場の知識と技術の指導が可能。

科目名	ボディ機器				
担当教員	原　直美		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	18
授業概要、目的、授業の進め方	器械を使用する事でハンドテクニックでは出来ない事を知る。 学校にあるボディに関する機器を種類を使用方法・効果を把握する。				
学習目標（到達目標）	それぞれの機器を使用して使用方法を把握する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員のオリジナルテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	G5機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明	オリジナルテキストP1～6
2	G5機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明	オリジナルテキストP1～6
3	G5機器デモンストレーション	オリジナルテキストP1～6
4	G5機器実習	オリジナルテキストP1～6
5	G5機器実習	オリジナルテキストP1～6
6	G5機器実習	オリジナルテキストP1～6
7	低周波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明	オリジナルテキストP7～11
8	低周波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明	オリジナルテキストP7～11
9	低周波機器のデモンストレーション	オリジナルテキストP7～11
10	低周波機器実習	オリジナルテキストP7～11
11	低周波機器実習	オリジナルテキストP7～11
12	低周波機器実習	オリジナルテキストP7～11
13	超音波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明	オリジナルテキストP12～14
14	超音波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明	オリジナルテキストP12～14
15	超音波機器のデモンストレーション	オリジナルテキストP12～14
16	超音波機器の実習	オリジナルテキストP12～14
17	超音波機器の実習	オリジナルテキストP12～14
18	超音波機器の実習	オリジナルテキストP12～14

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　0%、実技試験　0%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	ハンドテクニックとは違い、電気を使用する為、相モデル同士で十分に注意をさせる。

実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。

科目名	モニター実習				
担当教員	原　直美		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	14
授業概要、目的、授業の進め方	サロン名・メニュー決め 準備物の作成 ロープレ モニターサロン実習				
学習目標（到達目標）	クラスで協力し、保護者の方に向けてサロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	店長決め、サロン名・メニュー決め	学生ミーティング
2	準備物の作成	実習・制作
3	ロープレ	実習
4	保護者に対してのモニターサロン運営	実習
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	店長を中心に、話し合いを行いながら進めていく。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができる。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにする。

実務経験教員の経歴	

科目名	ロミロミ				
担当教員	今井　かおり		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数	―	時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	ブライダル専攻コース 世界のエステのうちのハワイアンエステロミロミを学び、多様な技術を習得していく。 ロミロミの考え方や歴史を座学にて学び、技術の習得				
学習目標（到達目標）	ロミロミの意味を理解し、それにあった技術を習得していく。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	講師作成のテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ロミロミの歴史について、背面の施術	ロミロミの意味、歴史について、背面の施術ｐ１～ｐ３
2	前回からの復習～背面の施術	背面の施術ｐ１～P6
3	前回の復習～下肢後面の施術	下肢後面の施術ｐ６～ｐ９
4	前回の復習～下肢前面、腹部、デコルテの施術	下肢前面、腹部、デコルテｐ９～ｐ１２
5	トータルで施術	ｐ１～ｐ１２

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　０　%、実技試験　０　%、学習意欲５０　%　レポート０　% 出席率50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	世界にある色々なエステテクニックは成り立ちに意味があるので、それをよく理解して技術の習得をすると手が目的なあった手つきになっていきます。

実務経験教員の経歴	現在もセラピストとして10年勤務。現場の知識と技術の指導が可能。

科目名	エステティック理論				
担当教員	原　直美		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステティック	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	87
授業概要、目的、授業の進め方	エステティシャンに必要な解剖生理学や栄養学を学び、カウンセリングに必要な知識を身につける。				
学習目標（到達目標）	修了実技試験の口頭試問やカウンセリングでのアドバイスに答えられる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト・人体解剖図				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
4月	エステティック概論・骨・筋肉	ソワンエステティックテキストP9～16、P29～40
5月	細胞・組織・血液・体液・循環器・免疫・骨・筋肉	ソワンエステティックテキストP10～28、P56～66、P29～40
6月	呼吸器・泌尿器・内分泌系・栄養	ソワンエステティックテキストP67～77、P93～126
7月	内分泌系・栄養	ソワンエステティックテキストP74～77、P93～126
9月	生殖器系・神経系・消化器	ソワンエステティックテキストP82～97、P127～131
10月	感覚器・皮膚・ホメオスタシス	ソワンエステティックテキストP98～114
11月	応用・復習	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　40%、実技試験　　%、学習意欲　30%　レポート　% 出席率　30% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	エステティシャンにとって解剖生理学を学ぶ事でお客様の施術やアドバイスに必要な事を意識させる。

実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。

科目名	エステ理論				
担当教員	田伏　澄子		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	98
授業概要、目的、授業の進め方	エステティシャンに必要な皮膚学・化粧品学・栄養学を中心に学び、カウンセリングやコース提案に必要な知識を身につける。				
学習目標（到達目標）	日本スパ・ウエルネス協会のビューティセラピスト試験の口頭試問が答えられる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
4月	皮膚の構造、皮膚の生理機能	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト Ⅲｐ７～ｐ２３、ｐ３０～ｐ４０
5月	トラブル別症状	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト Ⅲｐ４１～ｐ６２
6月	皮膚科学フェイシャル編	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト Ⅵｐ７～ｐ３９
7月	皮膚科学フェイシャル編・化粧品の原料・成分	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト Ⅵｐ７～ｐ４０、Ⅲｐ７１～ｐ８８
9月	基礎化粧品、フェイシャル香粧品	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト Ⅲｐ８９～ｐ９１、Ⅵｐ７３～ｐ９３
10月	栄養学フェイシャル編	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト Ⅵｐ１２７～ｐ１３８
11月	栄養学フェイシャル編、試験対策	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト Ⅵｐ１２７～ｐ１３９
12月	試験対策	日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテックテキスト

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験３０％、実技試験　　％、学習意欲３０　％　レポート２０　％ 出席率２０％ 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	エステティシャンにとって身体のこと、皮膚のこと、使っている化粧品の成分などの知識を身につけることで、お客様に１人１人にあったアドバイスが出来るようになり、より信頼されるエステティシャンになれます。

実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5~12年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。

科目名	カウンセリング				
担当教員	小田　陽子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	42
授業概要、目的、授業の進め方	エステティックの理解、考える力をつける				
学習目標（到達目標）	修了試験に向けて、アドバイスが出来る状態				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
5月～7月	カウンセリングについての基礎	テキストP115～150使用、カウンセリングの大切さを説明する
7月	症状別（冷え・浮腫み・セルライトなど）について	テキストP115～150使用、講師が用意したプリントを使用
9月～11月	実習をしながら相モデルで実際に行う	実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	エステティシャンとして技術だけではなく、カウンセリングの力が必要な事を意識させる。

実務経験教員の経歴	

科目名	メイク実習				
担当教員	濱田　裕美子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	セルフメイク・相モデルメイクの基礎 エステティシャンらしいメイクの仕方				
学習目標（到達目標）	メイクの基礎を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	デモ・メイクアップの基礎理論・顔分析	ソワンエステティックテキストP7～15
2	スキンケア・ベースメイクのデモ＆実習	ソワンエステティックテキストP16～30
3	基本テクニック・デモ＆実習	ソワンエステティックテキストP16～30
4	ソフトメイク・デモ＆実習	ソワンエステティックテキストP16～30
5	ソフトメイク・相モデル実習	ソワンエステティックテキストP16～30
6	ソフトメイク・相モデル実習	ソワンエステティックテキストP16～30
7	シャープメイク・デモ＆実習	ソワンエステティックテキストP16～30
8	シャープメイク・相モデル実習	ソワンエステティックテキストP16～30
9	シャープメイク・相モデル実習	ソワンエステティックテキストP16～30
10	確認テスト	
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　30%、学習意欲　30%　レポート　% 出席率　40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	相モデルでの実習になるので、相手への気配り等を意識させる。

実務経験教員の経歴	

科目名	ネイル実習				
担当教員	平　知香子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	ケア・カラーリング・アートの基礎を学ぶ				
学習目標（到達目標）	ネイル検定3級受験が出来る状態				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAネイルテキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	爪の構造・皮膚科学・ラウンドの説明・道具のセッティングの仕方	JNAネイルテキストP7～28
2	爪の病気とトラブル・衛生と消毒・ネイルケアのデモ	JNAネイルテキストP30～38
3	相モデルでのポリッシュオフ	JNAネイルテキストP75
4	チップでカラーリング・フラットアート	JNAネイルテキストP118～134
5	相モデルでのポリッシュオフ・チップでカラーリング	JNAネイルテキストP75～82
6	相モデルでポリッシュオフ・カラーリング・アート	JNAネイルテキストP75～82・P118
7	相モデルでポリッシュオフ・カラーリング・アート	JNAネイルテキストP75～82・P118
8	カラーリング・アートタイムトライアル	相モデルでの実習
9	筆記テスト・カラーリングタイムトライアル	相モデルでの実習
10	実技テスト	相モデルでの実技テスト
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　30%、学習意欲　30%　レポート　% 出席率　40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	相モデルでの実習になるので、相手への気配り等を意識させる。

実務経験教員の経歴	

科目名	修了制作				
担当教員	原　直美		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	14
授業概要、目的、授業の進め方	サロン名・メニュー決め 準備物の作成 ロープレ モニターサロン実習				
学習目標（到達目標）	クラスで協力し、保護者の方に向けてサロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	店長決め、サロン名・メニュー決め	学生ミーティング
2	準備物の作成	実習・制作
3	ロープレ	実習
4	保護者に対してのモニターサロン運営	実習
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	店長を中心に、話し合いを行いながら進めていく。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができる。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにする。

実務経験教員の経歴	

科目名	卒業制作				
担当教員	田伏　澄子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	125
授業概要、目的、授業の進め方	各グループに分かれて、サロンコンセプトなど１からサロンを立ち上げ、お客様にサービスを提供していく。 サロン運営を学び、実践的な接客、技術の提供を行い協調性や考えれ行動するスキルを学ぶ。				
学習目標（到達目標）	サロン運営に必要に企画・運営・提供・分析を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スパ・ウエルネス協会　ソワンエステテック理論Ⅰ、Ⅳ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
１１月下旬	サロンコンセプト・企業理念・サロン名・役割決め	学生ミーティング
１２月上旬	売上計画・売上目標決め	学生ミーティング
12月下旬	準備物の作成・DM発送	制作
1月	作成物を使ってのロールプレイング	実習
2月	実践（サロン運営）	実習
2月下旬	分析	実習、学生ミーティング

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　５０％　レポート　％ 出席率５０％ 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	サロンで働く上で必要な協調性や気づき力を身につけ、就職後即戦力となれる人財になります。 また、サロン運営で必要な知識や考え方を身につけ、売上に貢献できる人財になれたり、独立開業する際に役立ちます。

実務経験教員の経歴	

科目名	ブライダル専攻				
担当教員	齋藤　和江・田伏　澄子		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	―	時間数	95
授業概要、目的、授業の進め方	ブライダルを迎えるお客様の取り巻く環境やマリッジブルーなどに心理状況を理解し、エステティシャンとしての携わり方を学ぶ。 ブライダルエステで使用するテクニックの習得				
学習目標（到達目標）	ブライダルエステの顧客心理の理解 ブライダルエステの技術の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	講師作成テキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ブライダルの基礎知識	講師作成テキスト
2	ブライダルの基礎知識	講師作成テキスト
3	ブライダルの基礎知識	講師作成テキスト
4	ブライダルの基礎知識	講師作成テキスト
5	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
6	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
7	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
8	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
9	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
10	ドレスフィッティング	花嫁を体験
11	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
12	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
13	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
14	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト
15	ブライダルエステ	講師オリジナルテキスト

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲５０％　レポート　％ 出席率５０％ 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	ブライダルを迎えるお客様の顧客心理を理解しそれに合わせた気配りを身につける。ブライダルエステをする上での注意点を理解し、効果的な技術を提供できるようにする。

実務経験教員の経歴	美容師・ブライダリストとして１５年間、エステティシャンとしてサロン経験12年間の現場経験があり基本的技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。

科目名	ダイエット専攻				
担当教員	原　直美		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	95
授業概要、目的、授業の進め方	ダイエット検定2級合格 様々な世代のお客様に精通するスリミング知識を習得				
学習目標（到達目標）	ダイエット検定2級取得 プランニングをして結果を出す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ダイエット検定2級テキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ダイエットとは・現代ダイエットの基礎知識、臀部・バスト実技	ダイエット検定2級テキストP29～43 臀部・バストを相モデルで実技
2	体脂肪の基礎知識、カロリーコントロールの基本、下肢・臀部実技	ダイエット検定2級テキストP45～58 下肢・臀部を相モデルで実技
3	カロリーコントロールの不確定要素・リバウンドに関して、背部・バスト実技	ダイエット検定2級テキストP60～72 下肢・臀部を相モデルで実技
4	リバウンドに関して・無理なダイエットを起こす弊害、下肢前面・腹部実技	ダイエット検定2級テキストP73～88 下肢前面・腹部を相モデルで実技
5	過去問題、G5機器	過去問題を行う 相モデルでG5機器の実習
6	過去問題	検定対策授業
7	過去問題	検定対策授業
9月～11月	スリミング実習、プランニング	ペアになり、期間内で理想体型にする
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	検定合格が必須の為、合格するようダイエット検定の必要性を意識させる。後期はペアでプランニングをしていくので、結果が大切な事を意識させる。

実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。

科目名	パソコン				
担当教員	河内　美佐子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	100
授業概要、目的、授業の進め方	パソコンの基本操作をWord・Excelをベースに学ぶ。				
学習目標（到達目標）	Word検定３級取得（任意）、Excel検定３級取得（任意）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word(2013)クイックマスター基本編、Word技能検定試験問題集３級 Excel(2013）クイックマスター基本編、Excel技能検定試験問題集3級				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
	1年次　Word	
４月	ブラインドタッチ	Word技能検定試験問題集
５月	ブラインドタッチ	Word技能検定試験問題集
６月	図の挿入	Word技能検定試験問題集
７月	表の挿入	Word技能検定試験問題集
９月	期末テスト「添え状制作」	Word技能検定試験問題集
１０月	Word3級受験	Word技能検定試験問題集
	２年次　Excel	
前期	表の作り方、関数の入れ方、図の挿入	Excel技能検定試験問題集
後期	演習問題	Excel技能検定試験問題集
後期	excel検定試験	Excel技能検定試験問題集
後期	POPの作成	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
実技試験　４０％、学習意欲　20%、出席率　４０％ 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	社会に出てから必要なスキルになります。

実務経験教員の経歴	

科目名	トータルマナー				
担当教員	廣川　奈津子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	18
授業概要、目的、授業の進め方	表現力豊かな人を育成、柔軟な感性・身体を育てる				
学習目標（到達目標）	健康で美しく、知性・気品洗礼されたエステティシャンを目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エステティシャンの為の運動生理学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	運動の実際について、ストレッチ	テキストP60～61、P62～67
2	運動の実際について、身体バランス	テキストP60～61、P62～67
3	正しい美しい姿勢について、姿勢のポイント	テキストP60～61、P62～67
4	美しく健康な歩き方について、ウォーキングのポイント	テキストP60～61、P62～67
5	センスアップセミナー、好印象を与える美しい表情	テキストP60～61、P62～67
6	挨拶と立ち振る舞い	テキストP60～61、P62～67
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	エステティシャンとして技術だけではなく、姿勢や立ち振る舞いなども大切な事を意識させる。

実務経験教員の経歴	

科目名	サービス接遇検定対策				
担当教員	原　直美		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	24
授業概要、目的、授業の進め方	サービス接遇実務について初歩的な理解を持ち、 基本的なサービスを行うのに必要な知識、 技能を持たせる。				
学習目標（到達目標）	サービス接遇検定3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サービス接遇検定3級受験ガイド・過去問題プリント				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	サービススタッフの資質	サービス接遇検定3級受験ガイドP12～34
2	専門知識	サービス接遇検定3級受験ガイドP40～55
3	一般常識	サービス接遇検定3級受験ガイドP62～70
4	対人技能	サービス接遇検定3級受験ガイドP74～102
5	実務技能	サービス接遇検定3級受験ガイドP106～123
6	過去問題	第30・31回の過去問題を行う
7	過去問題	第32・33回の過去問題を行う
8	過去問題	第34・35回の過去問題を行う
9	過去問題	第36・37回の過去問題を行う
10	過去問題	第38・39回の過去問題を行う
11	過去問題	第40・42回の過去問題を行う
12	過去問題	第43・44回の過去問題を行う

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	一般的な接客マナーやサービスに関しての検定なので、エステティックとは少し異なる部分もある事を認識させる。

実務経験教員の経歴	

科目名	サービス接遇２級対策				
担当教員	田伏　澄子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	26
授業概要、目的、授業の進め方	サービス接遇検定２級の演習問題を行い、出題傾向につかんでいく。				
学習目標（到達目標）	サービス接遇検定２級合格。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サービス接遇検定問題集、模擬問題				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	模擬問題	サービス接遇検定問題集
2	模擬問題	サービス接遇検定問題集
3	模擬問題	サービス接遇検定問題集
4	模擬問題	模擬問題
5	模擬問題	模擬問題
6	模擬問題	模擬問題
7	模擬問題	模擬問題
8	模擬問題	模擬問題
9	模擬問題	模擬問題
10	模擬問題	模擬問題
11	模擬問題	模擬問題
12	模擬問題	模擬問題
13	模擬問題	模擬問題

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　%　レポート　% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	接客業をする上でサービス接遇を身につけておくと、より顧客満足をいただける接客が出来るようになります。

実務経験教員の経歴	

科目名	就職実務				
担当教員	原直美・田伏澄子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	115
授業概要、目的、授業の進め方	就職に対しての心構えを身につけ、就職活動に必要な事柄を計画的に学ぶ。 座学形式、グループディスカッション、模擬面接形式、ロールプレイングなど				
学習目標（到達目標）	就職に対しての心構えを身につける。 就職活動に必要な知識を習得し、採用試験で活かす。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	「実践ビジネスマナー」、「ＳＵＣＣＥＳＳ」、補助プリント				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
５月	社会人としての心構え、身だしなみ、敬語	講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.8～30
６月	来客対応、接遇	講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.32～55、 ロールプレイング
７月	期末試験対策　（敬語、席次について）	「実践ビジネスマナー」、補助プリントに沿って指導
９月	求職登録について　動機付け、自己分析	講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.6～26
１０月	自己ＰＲ作成、求職登録票作成	補助プリントに沿って指導、作成
１１月	求職登録面接練習（入退室、受け答え）	講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.66～69
１２月	就職活動の流れ、企業研究の仕方	講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.14～15
１月	履歴書の書き方、報告書、提出書類の作成	講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.52～58
２月	企業訪問について（アポイントメント、お礼状）	講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.59～64
4月	就職ガイダンス企業研究	就職ガイダンス企業一覧、求人票をみながら研究
5月	志望動機、自己ＰＲのブラッシュアップ	講義、補助プリントに沿って作成
6月	面接練習	ロールプレーイング、フィードバック
7月	面接練習	ロールプレーイング、フィードバック
１月	社会人としての心構え、接遇	卒業生の講話、ロールプレイング
２年次前期	就職活動の進捗状況により履歴書書き、面接練習	勝つための就職ガイドsuccess活用・添削
２年次後期	卒業生の就職先での話を聴いて就職意識を高めていく。	セミナー

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
定期試験　　%、実技試験　　%、学習意欲　50%　レポート　% 出席率　50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。	自らの進路に向けて就職意識を持ち、受ける事。 授業で習得したことを日常生活に活用し実践すること。 また、就職意識を高め入社してから自分が働きやすい環境作りをしていく。

実務経験教員の経歴	

科目名	コミュニケーション実践				
担当教員	原直美・田伏澄子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	179
授業概要、目的、授業の進め方	色々な外部講師からのセミナーを聴くことで人間力を高めていく。				
学習目標（到達目標）	人間力を高める				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
4月	新入生ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ（1年生）、水科江利子氏セミナー（1年生） 森川丈二氏セミナー（1,2年生）	セミナー
5月	スマホセミナー（1,2年生）、スポーツ大会（1,2年生）、	セミナー、イベント
6月	BMコングレス（1,2年生）	イベント
7月	NSG合同夏フェス（1,2年生）	イベント
9月	NSG大運動会（1,2年生）	イベント
10月	ミスインターナショナル	セミナー

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率80％　学習意欲20％	講義を良く聴き自分の人間力を高めていきましょう

実務経験教員の経歴	

科目名	総合人間学習				
担当教員	原　直美・田伏　澄子		実務授業の有無		
対象学科	トータルエステテイック	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	―	時間数	86
授業概要、目的、授業の進め方	物事の考え方を学び人間力を上げていく				
学習目標（到達目標）	人間力を上げる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学テキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
	1年次	
4月	実践行動学part1	実践行動学テキスト グループディスカッション
5月	関東研修	研修
12月	実践行動学part 2	実践行動学テキスト グループディスカッション
	2年次	
5月	田ノ浦研修	研修
12月	海外研修	研修
1月	実践行動学part3	実践行動学テキスト グループディスカッション

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率80%　学習意欲20%	グループディスカッションを行うことで自分の意見を相手に伝える力が身に付き、また傾聴力と他を受け止める力を身につけることができます。

実務経験教員の経歴	